



公益社団法人青森県社会福祉士会

東青支部たより

東青支部会員の皆様には、お元気でお過ごしのことと拝察申し上げます。

令和2年に突如として発生した世界的パンデミックにより、支部会の活動も変更を余儀なくされ、一部は未開催、企画変更、急速なICT化等への対応に追われる日々でした。やがて変化にも慣れ、多様性を尊重し、対応できるようになると「ふと」気付くもので…「あれ？支部たより…ずっと出してねーな(;^_^;)」と…というわけで、全部コロナのせいにしていますが、単純に作れる人がいなかっただけの久々の「東青支部たより」です。そう思っていた人も、思っていない人も、会の活動に参加したことがある人も、ない人も、関心がある人も、ない人もご一読。興味が沸いたら一回でも良いのでは是非ご参加を♪

第1回東青支部会2022

家事調停員の仕事



家事調停とは…

家庭内や親戚間の紛争を当事者同士で解決できるように話し合形成の手渡しを図る手続きです。
実際に社会福祉士がどうやって家事調停員として専門性を發揮しているのか？
貴重な体験を実務者がお伝えします。

テーマ：家庭裁判所「調停員」のソーシャルワーク

講師：株式会社アクトリー 代表取締役 藤井慶吾氏

開催日：令和4年8月23日(火)

19:00～20:30頃まで

開催地：ZOOM



第2回目は「セルフネグレクト」をテーマとし、講師に士楽舎（相談支援事業所サニーフィールド）代表：大場匡人氏。相談支援事業所ホットミルク支援相談員：成田豊氏、トータルプロデュースモコ代表取締役：花輪隆氏のお三方をお招きしてお話しいただきました。支援者が一度は遭遇するゴミ屋敷問題。それぞれの生々しい体験談を聞いた参加者から出た「外から見分けるポイントは？」の質問に「カーテンの裾がいがんで、ちゃんとしていない」と答える講師。花輪氏の「本人にとっちゃゴミじゃない。資源なんだ」の名言も生まれ、大変勉強になる密度の濃い2時間でした。当日はハロウィンのため、仮装来場大歓迎とし、多数ご参加いただきました。初のハイブリッド開催のため、多少手間取りましたが無事に終了することができました。

(参加合計84名超)

2022年度第3回東青支部会

ヤングケアラー最前線

～スクールソーシャルワーカーの立場から子どもをみると～



講師及び内容：

【小中学校編】

青森県教育庁 東青教育事務所

スクールソーシャルワーカー 小笠原 仁美氏(社会福祉士)

【高校編】

社会福祉法人 藤井慶吾団 相談支援事業所 藤

管理責任者 長谷川 さとみ氏(社会福祉士)

開催日時：令和5年2月17日(金) 18:30～20:00頃まで

開催地：集会＆ZOOM(ハイブリット開催)

会場：県民福祉プラザ3F共用研修室1＆ZOOM



第3回、今年度ラストを飾る支部会のテーマは「ヤングケアラー」講師は現役スクールソーシャルワーカー、青森県教育庁所属：小笠原仁美氏、相談支援事業所藤、管理者：長谷川さとみ氏。小・中・高等学校の各ライフステージで発生する事案にどのように介入するのか。実は先生から相談を受ける場面も多いという、正に環境に働きかけるスクールソーシャルワーカー。

最近よく聞く「ヤングケアラー」という言葉。会場からの「定義は何？」の質問に、「定義に囚われず、子供が困っていたら支援する」とおっしゃった姿は、ソーシャルワーカーとしての格好良さの本質を垣間見ることが出来た。

(参加合計30名)

令和4年度号

発行人：東青支部支部長

羽部 清隆

編集：東青支部

羽部 清隆

第2回東青支部会2022

セルフネグレクト ～ゴミ屋敷問題を考える～

講師：【イントロダクション】セルフネグレクトとは？
株式会社アクトリー 代表取締役 大場匡人氏
【ゴミ屋敷問題の現状】
第一部
有(大裕) 相談支援事業所ホットミルク 管理者 成田豊氏
第二部
トータルプロデュースモコ 代表取締役 花輪 隆氏
株式会社アクトリー 代表取締役 藤井慶吾氏

開催日：令和4年10月31日(月) 18:30～20:30頃まで

開催方法：ハイブリット開催※参加費無料

会場：県民福祉プラザ3F共用研修室1＆ZOOM

【質問する某法人所属の大仏】

